



2023年2月24日

各 位

会 社 名 株式会社ナカヨ  
代表者名 代表取締役社長 貫井 俊明  
(コード番号6715 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 常務執行役員  
管理統括本部長 岩本 修  
(TEL 027-253-1006)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年2月9日に未定としておりました2023年3月期の連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ●業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	16,700	△1,190	△1,080	△930	△208.88
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	18,587	86	218	281	63.31

#### 修正の理由

2023年3月期の連結業績予想につきまして、当社の主力製品であるビジネス関連機器の部材は、調達先への現状把握や設計変更による代替部材対応を行っているものの、長期化している部材不足の影響および取引先の納入調整による減産の影響を当第4四半期連結会計期間で挽回することが難しく、売上高16,700百万円となる見込みであります。また、利益面につきましては、費用の削減や製品への価格転嫁を行っているものの、売上高の減少および部材の納入価格やエネルギーコストをはじめとする費用の上昇が予想を超えてしまい、営業損失1,190百万円、経常損失1,080百万円、親会社株主に帰属する当期純損失930百万円となる見込みであります。

#### 今後の取組み

当社は、今後、外部環境の変化に備えた経営体質を構築すべく、新たな事業基盤の構築や原価低減に取り組んでまいります。新たな事業基盤として、情報伝送技術と製造能力にITを融合させた事業「スマートX事業」の製品・サービスの創出を推し進めてまいります。継続的な原価低減と価格転嫁により、改善方向に向かっており、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。

今後とも、顧客満足を第一に考え、様々な分野の市場を考慮した商品開発、事業開拓を進めると共に、働き方改革に向け、全社的な業務の効率化も継続してまいります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2022 年 5 月 12 日 発表)	—	—	—	40.00	40.00
今回修正予想	—	—	—	20.00	20.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2022 年 3 月 期)	—	0.00	—	40.00	40.00

修正の理由

株主の皆様に対する利益還元を充実していくことが経営上の重要課題であることを認識しており、業績に応じた配当の実現と市場競争力の維持や収益の向上に不可欠な設備投資、研究開発等を実行するための内部資金の確保を念頭に、財政状態、利益水準及び配当性向等を総合的に勘案し、連結配当性向 30%程度を目安に安定的に実施する方針であります。

2023 年 3 月 期 の 期 末 配 当 金 は、業 績 予 想 の 修 正 に 伴 い、誠 に 遺 憾 で は ご ざ い ま す が、前 回 予 想 か ら 20 円 減 配 さ せ て 頂 き、20 円 と さ せ て い た だ き ま す。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、業績回復に尽力してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上